

工事計画概要書	
<p>【復旧等工事を行う箇所の概要図】</p> <p>※前面道路、河川、水路等を含めた敷地の形状、住宅（附属建物を含む）の配置関係、大雨被害により復旧工事等を行う箇所の概要図（方位を含む）を記入すること。</p> <p>※概要図を別紙とする場合は、別紙のとおりと記入すること。</p>	
<p style="text-align: right;">浸水範囲 ←</p> <p style="text-align: center;">道路</p> <p style="text-align: center;">川</p> <p style="text-align: center;">居間等の床改修</p> <p style="text-align: center;">住宅</p> <p style="text-align: center;">倉庫</p> <p style="text-align: center;">給湯用ボイラー更新</p> <p style="text-align: center;">※住宅地図に浸水範囲を記載したものを添付してもOK</p>	
<p>【被害の状況】</p> <p>例1) 令和6年7月25日からの大雨により、 自宅が床上50cm程度浸水した。</p> <p>例2) 令和6年7月25日からの大雨により、 自宅の給湯用ボイラーが浸水し、使用できなくなった。</p> <p>例3) 令和6年7月25日からの大雨により、 自宅が床下浸水し、1階の居間の床にカビが発生した。</p>	
<p>【復旧等工事の概要】</p> <p>例1) 居間、トイレ、客間の浸水した床や壁を撤去し、新設する。</p> <p>例2) 給湯用ボイラーを更新する。</p> <p>例3) 1階の居間の床を張り替える。</p>	

※工事箇所の着工前の写真が無い場合は、被害の状況欄へ浸水した室名を詳しく記入してください。